ステアリングロックアラームⅡ

MODEL 46-1502

取付／取扱説明書

このたびはツーフィットの製品をお買いあげ頂き、ありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本「取付／取扱説明書」をよくお読みください。なお、お読みになった後もお手元におき、ご活用ください。

本製品の特徴

ステアリングロックアラームⅡは、ステアリング・ハンドルに取り付ける盗難防止装置で、ドアキーをこじ開けるような衝撃があると即座に104dBのアラーム音で警告を発します。それと同時に、最大約１km離れた所のリモコンまで信号が送られ、オーディオやバイブレーターによる警報が鳴り、LCDスクリーンに警告状態が表示されます。

搭載している機能

●200,000Ｖの高圧耐久性があり、異常な過電圧を感知するとただちにメッセージを送信します。
●ロックボディーとハンドル・バーは強化されており、簡単には切断できません。
●送信シグナルには10,000,000種類の異なったコードがあり、不正アクセスを防ぎます。
●他のシグナルの干渉を避けるために多様な周波数を使っています。ロックされていないと、5秒後に「ディ、ディ、ディ」という警告音が鳴ります。
●９枚ディスク・シリンダーロック(特許)は、ピッキングに強い構造です。
●ディスクとロックアラーム本体も、ドリルなどによる破壊を防ぐために強化されています。
●2000万にものぼるキー・コード・コンビネーションがコピーを防ぎます。
●高品質の耐久性アルミニウム合金製で破損に強く、錆び付いたりもしません。

目次

1 安全上の注意

本製品は安全に十分配慮した設計／製作を行っております。しかし、電気製品は取扱方を間違えたまま使用すると、火災やショート、感電などにより、思わぬ事故を招くことがあります。また、取付の際も注意を怠ると、部品や使用する工具などにより思わぬ怪我をすることがあります。事故を未然に防ぐため、次の点をお守りください。

●本製品の分解や改造は絶対に行わないでください。
●取り付け及び使用開始前にこの説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
●使用開始後もこの説明書は大切に保管されることをお勧めいたします。
●製品を本来の目的外に改造された場合や外国で使用した場合の責任は一切負いません。
●他の用途に仕様する事は出来ません。特にお子様が使用されることの無い様、充分に注意してください。
●本マニュアルに従わずに利用する事で生じた損害や被害に対しては製造者は責任を負い兼ねますのでご注意ください。
●ステアリングロックアラームⅡは車両専用にデザインされた保護装置です。車両内に残された物品に対しての保証は致しかねます。
●本製品は原則として、開封後の返却には応じられません。また、取り付けの際、万が一、製品及び車両や建物の破損、事故、作業中のケガ等が発生しても一切責任を負いません。取り付けの際は十分注意してください。

2 使用上の注意

●製品を落とさないよう気を付けてください。落下によって製品が正常に操作できなくなることがあります。また、製品の寿命を縮めることにもなります。
●ステアリング(ハンドル)に、しっかり外れない様に取り付けてください。
●人や物に対して武器として使用しないで下さい。
●走行中は車内の安全な所、ペダルから離れた所に保管してください。
●分解したり、他の目的に使用しないでください。
●耐水ですが、防水ではありません。水に浸けないでください。乾いた場所に保管してください。
●乾いた布で拭いてください。外観を損ないますので、水やアルコール希釈剤、バポライザーや洗剤を使用しないでください。
●鍵穴や可動部分には、３ヶ月毎に油を差してください。

3 内容物一覧

取付作業前に、部品がすべて揃っているかの確認を行ってください。

ステアリングロックアラーム本体

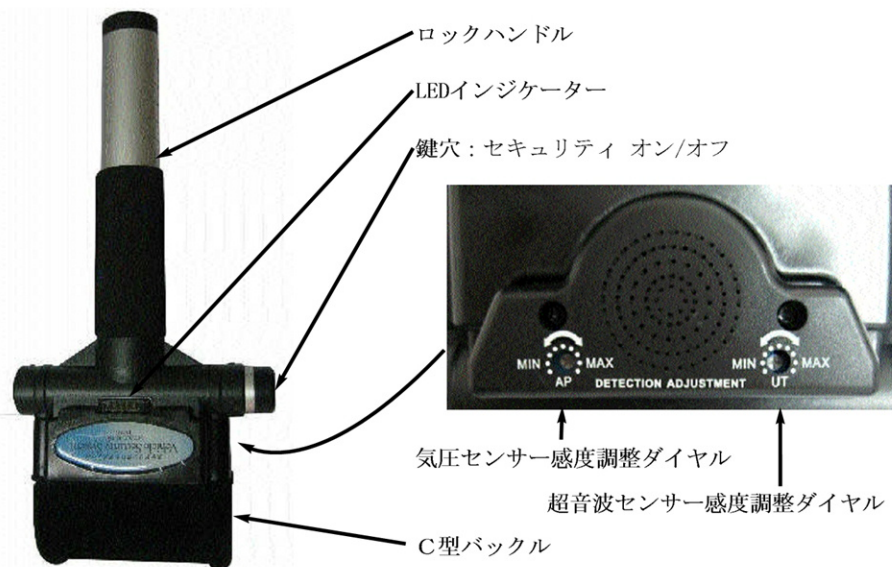
リモコン

解除鍵＆キーコードプレート

スペアスクリュー

バッテリー交換用六角レンチ

感度調節用
プラスチック・ツール

●各部の名称

●リモコン

LCDスクリーン
警報動作の状態に応じて点滅します

リセット（アラーム解除/バイブレーション・ボタン）
●このボタンを押すと、本体からの信号を受信しても警告音とバイブレーションは動作しなくなります
●警告音からバイブレーションへの切り替え、及びバイブレーションから警告音の切り換えを行います

ON/OFFボタン
●本体セキュリティ動作時には、リモコンも同時に作動します
●本体セキュリティ解除時には、リモコンも同時に解除します

警告音
セキュリティ動作すると警告音が鳴ります

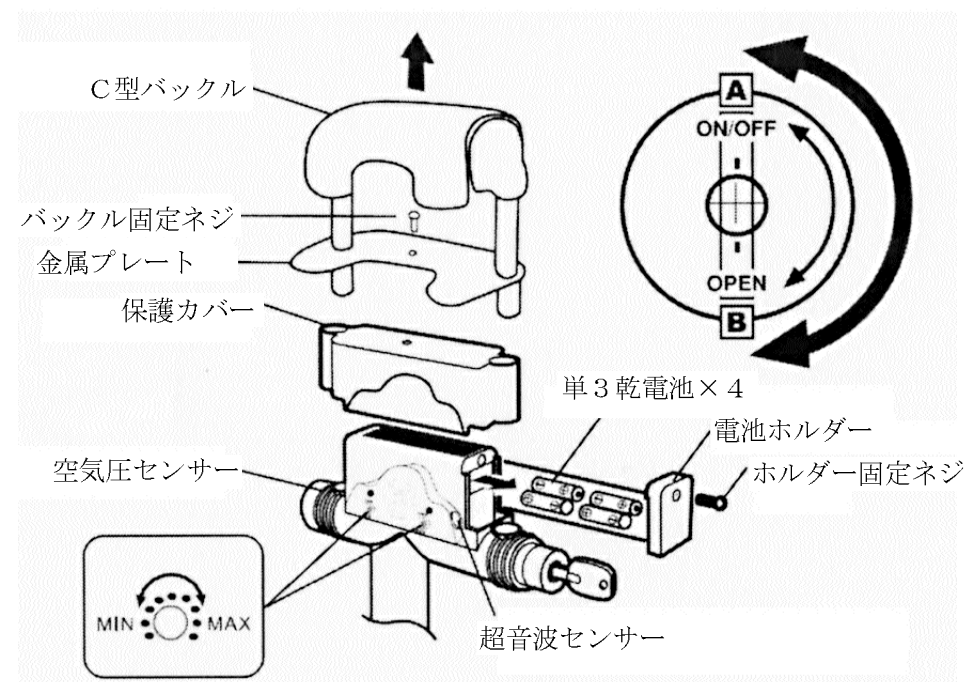
●仕様

	項目	内容・数値
ロックアラーム本体	アラーム音量	最大約120dB（ブザー近辺）
	動作環境温度	＋95℃～－30℃
	伸張強度	約3,500kg（バックルとロック本体）
	切断強度	約4,000kg（ハンドル）
	電撃耐久性	約200,000V
	強度	約60HRC（金属）
	サイズ	425×180×90mm
	重量	約1.7kg(電池を除く)
	電源	単３アルカリ乾電池　４本
	キーコード	20,000,000　コンビネーション
リモコン	電源	単４アルカリ乾電池　１本
	有効範囲	約１km(無障害物状態)
	サイズ	77×35×19mm
	重量	約33g（電池を除く）

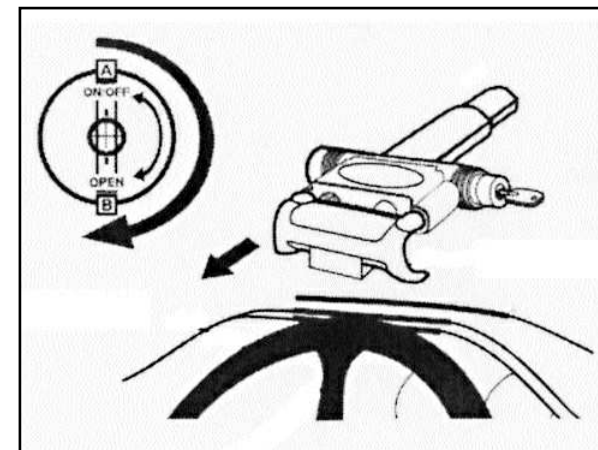
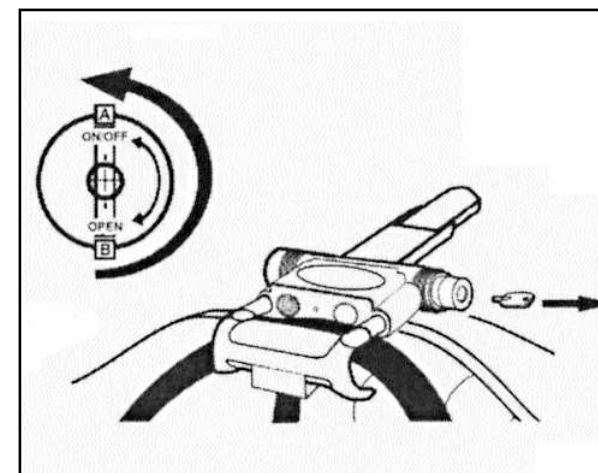
※．仕様については、予告無く変更されることがあります。

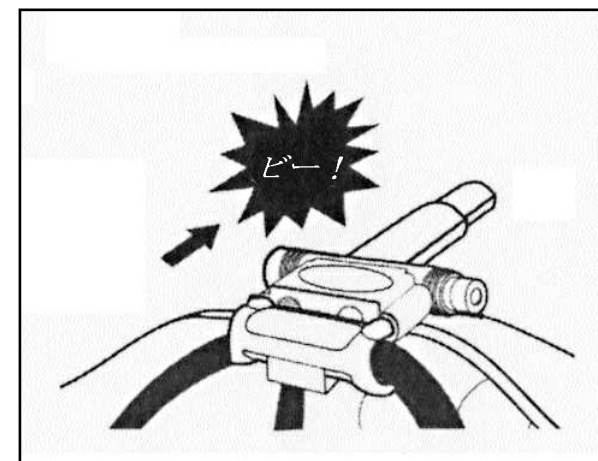
4 取付要領

●本体への電池の挿入

① キーを鍵穴に差込みます。
② オープンＢの位置まで、時計回りに回します。
③ Ｃ型バックルが飛び出します。
④ バックルの固定ネジを外します。
⑤ バックルと保護カバーを外します
⑥ ネジを外して、バッテリーケースのカバーを外します。
⑦ 単３アルカリ乾電池を４本、＋と―の向きに注意して挿入してください。
⑧ バッテリーケースのカバー、ロックボディーのカバー、バックルを元に戻します。
（電池の寿命は使用状況によりますが、一般的には１８０時間程度です）

左に回すと、感度は下がります。
右に回すと、感度は上がります。
出荷時設定は、12時の位置（中間感度）です。

注意：
※. 同梱の電池は動作チェック用のものです。テスト中に消耗します。音が弱くなったり、キーを回した時にビープ音が３回鳴ったり、リモコンが警告音を鳴らしたり低バッテリーのアイコンを表示した場合は、電池を交換してください。アルカリ乾電池をおすすめします。
※. 超音波や空気圧の感度を調節する必要がある時には、同梱のプラスティックのツールを使用してください。
※. イラストで示された様に回してください。間違った方法に回したり、360°回転させたりしてしまうとノブが破損することがあります。

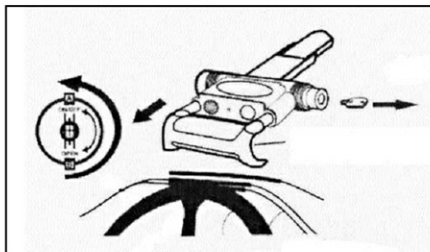
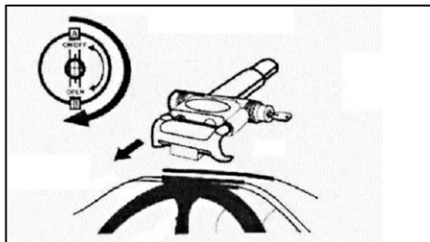
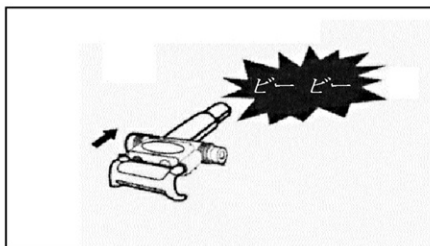
●セキュリティー・システムの起動

① 鍵穴にキーを差込み、Ｂオープンの位置まで時計回りに回します。すると、Ｃ型バックルが自動的に持ち上がります。

② キーをＡ（ON/OFF）まで戻し、抜きます。
③ Ｃ型バックルを本体から引き出します。
④ ステアリングロックアラームをハンドルに取り付けます。

※. より高度のセキュリティーを得るために、スポークの一つにロックすることをお勧めします。

⑤ Ｃ型バックルをカチッとロックされるまで本体に押し付けます。（スポークの一つにロックさせる事をお勧めします）
⑥「ビー」という音がして、LEDが点滅したらセキュリティは有効です。
⑦「ビー」という音がしてから30秒以内に車から降りてください。30秒経過して振動が加わるとアラーム音を発します。

注意：
※. ロック・シリンダーには９つのシリンダーがあり、キーを完全にさしこまないとユニットをロックすることができません。無理に回すとキーを破損することがありますのでご注意ください。
※. キーを差込みにくいときは、ゆっくり前後に回してください。
※. Ｃ型バックルとロックが正しく作動していないと、バックルが出て５秒後からリモコンが警告音を鳴らし続けます。
※. スイッチが入ると、送信機は「ビーッ」という音を鳴らして知らせます。
※. 防犯性を高めるため、キーは特別のものです。キーの破損には保証対象外です。

●セキュリティー・システムの解除

① 車のドアを開く前に、運転席側ウインドに近い場所から「リセット」ボタンを一度押します。本体からの信号を受信するとリモコンがビープ音を1回発して振動します。

※. この作業の後、車のドアを開いて30秒以内にステップ②を行わないと、アラームが再起動してしまいます。

② 鍵穴にキーを差込み、AからB(Open)の位置に時計回りに素早く回します。C型バックルが自動的に外れます。

③ キーをA(ON/OFF)まで回してキーを抜き、ハンドルからC型バックルを外します。

④ ステアリングロックアラームを外して5秒間たってから、C型バックルをカチッとロックされるまで本体に押し付けます。

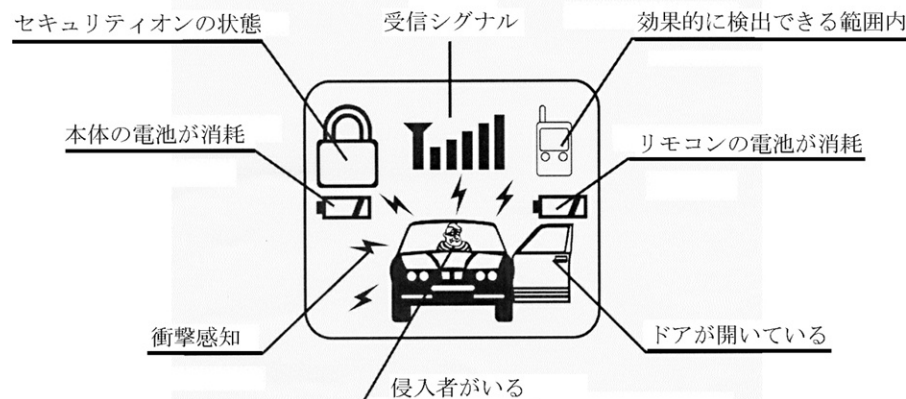
注意：
※. キーを差込みにくい場合は、ゆっくり前後に回してください。無理な力で回しますと、キーまたは鍵穴を壊すことがあります。定期的に油を注いで、メンテナンスをお願い致します。
※. 時間内にスイッチをオフにしなかったり、誤った使用をしたためにアラームが鳴った場合、キーを素早く差込んでB(Open)の位置迄回してください。アラーム音は直ぐに止まります。
※. C型バックルを正しく戻していないと、リモコンが警告音を鳴らします。
※. スイッチが切れると、送信機は"ビーッビーッ"という音を鳴らして知らせます。

●リモコンの起動/解除

リモコンが起動されたあと（本体セキュリティーオン後）：
① 本体LEDインジケーター：約9秒間隔で点滅。（バッテリーの省エネモード：リモコンのアイコン表示無し）
② ON/OFFを押す：標準スタンバイモードへ切り替え(受信状態を表示します)
（本体LEDインジケーター：約9秒間隔で点滅。リモコンのアイコン表示：錠アイコンとアンテナアイコンが約3秒間隔で点滅します）
③ ON/OFFを再度押す：バッテリーの省エネモードへ切り替え
（本体LEDインジケーター：約9秒間隔で点滅。リモコンのアイコン表示：何も表示しない）
④ リモコンは常に携帯してください。
⑤ 車両や本体に何らかの衝撃を受けたり、車内へ何者かが侵入すると、本体からリモコンにメッセージを送ります。
⑥ 警告音を停止させるには10秒の呼び出し音の後、リセットボタンを押してください。
⑦ 直近の警告メッセージを見るには、"RESET"ボタンを押してください。

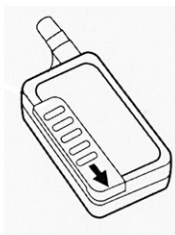
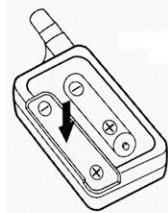
注意：
※. リモコンを使用される前に、バッテリーの電源を確認してください。
※. 本体セキュリティがオンになるとリモコンも自動的にオンになります。逆も同様です。
※. スタンバイモードで5秒毎にリモコンの警告音が鳴る場合、バッテリーが少なくなっています。

●リモコンの設定とイラスト

☆オーディオ(警告音)モードとバイブレーションモードの設定
① オーディオ・モード設定には、ビープ音が鳴るまで「RESET」ボタンを押し続けます。
② バイブレーション・モード設定には、リモコンがバイブレーションし始めるまで、「RESET」ボタンを押し続けます。

注意：システムが起動されるたびに、リモコンはオーディオ警告モードに戻ります。

アイコン	サウンド	イメージ	メッセージ
	長いビープ音	ロックとシグナルのアイコン	システムはON
	ズ・ズ・ズ	10分後にリモコンのアイコン	車両は安全範囲内にあり
	ビ・ズ・ズ・ズ・ズ	13分後、リモコンのアイコンは無し	受信範囲外
	ビ、ビ、ビ、ビ、ビ	ドアが開いているアイコン	窓ガラスが割れている OR ドアが開いている
	ビ、ビ、ビ、ビ、ビ	ライト点灯のアイコン	衝突もしくはレッカーなどによる衝撃
	ビ、ビ、ビ、ビ、ビ	60秒以内に２回起動、泥棒のアイコン	車内に泥棒がいます
	５秒毎にズ・ズ・ズ	リモコン電池のアイコン	リモコンの電池残量が低下
	５秒毎にズ・ズ・ズ	本体電池のアイコン	本体の電池残量が低下

●リモコンの電池交換

リモコンのバッテリーが少なくなっていることを示すアイコンが表示されたときは、右図の要領で単４アルカリ乾電池を交換してください。

①リモコンを裏返し、指掛けが設けられた電池カバーを下方にスライドさせて取り外します。

②電池を取り外し、＋／－の向きに注意しながら新しい単４アルカリ電池を取り付けます。

5 トラブルシューティング

異常事態が発生した場合は、以下の原因ではないかをチェックしてください。

	問題	可能性のある理由とその解決法
ロック本体アラーム	アラームが作動しない	●バッテリー切れ、単三アルカリ乾電池４本を入れ替えてください ●乾電池の入れ方が正しくありません。＋と―の向きが正しく入っているかチェックしてください
リモコン	電源が入らない	●電池切れ、単４アルカリ乾電池を交換してください
	警告音が鳴らない	●リモコンが範囲外にある、車両を範囲内に駐車してください ●リモコンの設定がバイブレーションモードになっていないか確認してください
	5秒毎に「ビ・ビ・ビ」と鳴る	●本体、もしくはリモコンの電池残量が低下しています。

ステアリングロックアラームⅡ
46-1502

本製品は生産後及び出荷前にダブル動作チェックをし、万全の状態でお客様にお届けしております。取り付けに関しましても、この説明書をよくお読みになって破損や事故のないよう十分注意していただくようお願い申し上げます。

ツーフィット株式会社　〒231-0033　神奈川県横浜市中区長者町5-75-1　www.to-fit.co.jp